

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492400021	事業の開始年月日	平成18年9月1日
		指定年月日	平成18年9月1日
法人名	株式会社へいあん		
事業所名	グループホーム「へいあん小和田」		
所在地	(〒253-0012)		
	神奈川県茅ヶ崎市小和田3-3-25		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9名
		工外数	1工外
自己評価作成日	平成26年1月15日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月7日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご入居者様一人ひとりの心と体の安心を第一に考え、認知症をかかえても「その人らしく生活できる環境」をご入居者様とケアスタッフでつくりあげていきます。それが、「へいあん小和田」の目指すグループホームです。</p>

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年1月23日	評価機関 評価決定日	平成26年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所はJR東海道線の辻堂駅から徒歩10分ほどのところにあり、1階には同法人のデイサービス、訪問介護、居宅介護支援事業所があり、2階が1ユニットのグループホームになっている。母体法人は神奈川県下で多数の冠婚葬祭を手掛け、ヘルスケア部門として介護事業も多数、展開している。5つのグループホームは「横串会議」と呼ばれるマネージャー会議で、介護記録書式や防災関係などの課題を検討するなどして連携している。</p> <p>【職員を応援する組織】 資格取得を応援するしくみがあり、多くの職員が資格を取る準備をしている。事業所も職員の多くが介護福祉士となっている。職員のモチベーションも高く、毎月の職員会議（カンファレンス+研修）は、ほぼ100%の出席率を誇る。年齢層も幅広く、勤務年数も長い。</p> <p>【ゆったりした生活環境】 廊下や居室は基準より広く、全体にゆったりした印象を与える。土地オーナーの好意により隣接している駐車場の一角を小さな畑にして、利用者と共に野菜作りをしている。季節ごとにとれる野菜は、時にはバーベキューや食卓をにぎわせる主役となる。玄関前のプランターの水遣りなど、利用者は役割を持って生活をしている。動物の写真やビデオの流れる中で利用者はゆったりとした時を過ごしている。職員は利用者のペースに合わせた介護を心掛けるよう教育されている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフと共に創立時に掲げた理念を毎朝唱和。理念に基づくケアの実践を日々心がけている。	法人の理念と事業所の理念を毎朝の朝礼時やミーティングの時に唱和している。事務所玄関に掲示もしている。ケアに迷いが出た時などは理念に立ち返るよう指導しており、尊厳を重視したケアを心がけている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事等(盆踊り・敬老会等)に積極的に出向き、地域の住民の一人として参加意識を持っている。	開設当初から利用者個人が自治会に加入し、敬老会や盆踊りなどの行事に参加している。アロマセラピーやギター演奏のボランティアが来訪する。デイサービスと合同で行うバーベキューや夏祭りに近隣の住民を招いている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所へかかってくる電話相談や問合せに懇切丁寧に対応し、認知症の理解の一端を担っていると自負している。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今期は、4月開催の推進会議でこのテーマを取り上げることを予定とする。	運営推進会議はおおむね隔月の偶数月に開催されている。市職員、地域包括支援センター職員、介護相談員、自治会副会長、民生委員などの参加がある。ボランティアの活用や地域交流、防災などについて意見交換している。法人の研究発表の成果も報告した。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村とは、待機情報を通じて、また運営推進会議への出席を通して連携を密にとっている。	市窓口には介護保険更新手続きや運営推進会議の議事録、事故報告書の提出に出向く。地域包括支援センターが近くにあるので連携できている。介護相談員2名が毎月訪問し、利用者の話し相手をしている。グループホーム事業所連絡会に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対する研修の実施やマニュアルの整備等を通して、スタッフへ周知し、ケアにおいて身体拘束をしないケアを実践してもらっている。	法人内では「身体拘束委員会」があり、やむを得ず拘束の必要性が生じた場合も委員会の許可がないとできない。法人として拘束をしない取り組みを行っている。職員には年に1度事業所内で研修をしている。夜間以外は施錠しておらず、玄関のチャイムとモニターで見守りをしている。利用者の不意の外出には、職員が同行している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	採用者には、採用時研修において学習してもらい、年に1回は現場向けに内部研修を企画している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記同様。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際は、十分な説明を行い、疑問・不安等を解消している。また、契約書改定、重要事項説明書改定の際は、家族会等を開催し、説明を行い、同意を得ている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等を開催。その際の要望等に迅速に答えている。 今期は4月に開催予定	事業所では、関係者に家族会や行事、運営推進会議への参加を呼び掛けているが、家族も高齢化し遠方に住んでいるなどの事情から、参加は厳しい状況である。近くの家族は日ごろから来訪しやすいこともあり、来訪時に意見を聞いている。年に4回の「絆のたより」のほか、個別に利用者の近況を写真入りで毎月伝えるようにしている。	家族の高齢化などで行事参加など少なくなっていますが、アンケートや家族会等を利用し、双方向のコミュニケーションができるよう工夫されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	半年に1回度のスタッフ面談、及び月に1回の業務会議、職員用投書箱を設置し、職員の声を引き出し運営に反映させている。	職員は各委員会に所属し、毎月のミーティングにもパートを含むほぼ全員が積極的に参画している。「議題提案書」で毎月のミーティングに話し合いたいことを無記名で提案できる。「気づきノート」で気づいたことを職員間で共有している。書類の追加事項を提案したり、担当内容の変更を話し合ったりしている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上記同様、半年度のスタッフ面談等で、業務評価を行い、左記の内容についてスタッフ評価、意識付け等を行っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ個別に研修計画を設け、年間の内部研修計画、外部研修を通じて教育を実施。また、新人に対するOJTも日誌やチェックシート等の活用により、着実に実施。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協会に所属し、研修等を通じて左記の取組みを実施。また、グループ内の5施設において毎月1度のミーティングを通じた交流、情報交換、業務改善会議を実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(部分的に)センター方式を活用し、左記の内容をアセスメントに反映させている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	同上。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始前に、管理者とケアマネがインテークを行い、利用者支援の視点で相談対応、情報提供等に努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	左記の視点に立って、ケア方針を作成(ケアプランに反映)、援助を実践している。 *余暇活動においても、左記視点にて「畑作業」を実施。今期も継続中。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	「家族との絆を大切にする」を理念に盛込んでいるとおり、これを意識し実践している。 *「絆のたより」を発行、家族へ送付。 *状況報告書送付を毎月送付。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>居室に馴染みの物を置いてもらったり、入居でそれまでの人間関係が途切れないよう配慮。リロケーションダメージの緩和に努めている。</p>	<p>知人や友人が来所した時は居室でくつろいでもらっている。動物が好きな利用者が多いので、動物の映像や「懐かしの昭和のメロディー」など、利用者にとって馴染みのあるビデオを流している。好きだった編み物や農作業などを支援することで、自宅に居た頃のような生活環境を維持できるよう努めている。手作りのおやつであんころ餅や甘酒などを提供している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の人間関係はケアの大きな要素であると認識し、日常の支援において配慮している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>スタッフがご家族のお話を傾聴したり、ご家族が入居者様と歓談したりといった関係が継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	上記同様、センター方式を一部活用し、左記内容のアセスメントを実施、ケアに反映させている。	理念にもある「傾聴」を行うことで、利用者の思いや希望を把握できるよう努めている。細かなことでも「気づきノート」に記入し情報を共有することで、状況報告書の作成にあたっている。把握に困難な方には表情や態度でくみ取るようにしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記同様、センター方式を一部活用し、左記内容のアセスメントを実施、ケアに反映させている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	上記同様、センター方式を一部活用し、左記内容のアセスメントを実施、ケアに反映させている。毎朝申し送り時に、必要があれば小カンファレンスを実施等。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当スタッフより、毎月情報シートを提出してもらい、モニタリング記録と合わせて、ケアプラン作成に活用している。	職員は担当制で利用者の様子を観察し毎月状況報告書を書いている。全職員参加のカンファレンスを行い、毎月のモニタリングを基に6か月ごとに評価をしている。往診ノートから医療情報も参考にして介護計画を立てている。介護記録書式を工夫し、職員は介護計画書の目標を意識しながらケアにあたっている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別ごとのサービス提供日誌を記載し、左記内容に取り組んでいる。細かな情報共有のために、「気づきノート」を導入しスタッフ間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループの社内資源も活用し、左記の内容に取り組んでいる。 基本的には、自宅にいらっしゃる時と同じようにニーズに対応できることを旨としている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個別の外出などを毎日実施し、左記内容に取り組んでいる。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当グループホームとして協力連携病院を確保しているが、これにとられず、病院受診は、ご本人ご家族の要望に対応できている。	内科は利用者全員が月に2回の協力医に受診している。整形外科や専門医は職員が必要時に受診の支援を行っている。受診結果は家族に電話や毎月の手紙などで連絡している。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人事業部内の看護師と連携を取り、医療的な視点でのケアと観察を実施しており、介護スタッフと情報共有を図り、必要な医療的アドバイスを受けている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中も病棟に出向き、担当ナースから病状把握や退院支援に対応している。 また、入院加療において必要な生活情報、身体情報を提供している（家族同意を得て行っている）。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り指針を作成し、これに基づき、左記に対応している。	「看取りに関する指針」を法人で決め、利用者家族に説明している。実際の看取りの時はこまめに話し合いながら行うことにしている。職員は法人の看取りを行う方針を承知している。事業所では看護師を講師に呼んで看取りの研修を行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	採用時研修において、救急対応、心肺蘇生等のスキルが身につくよう研修メニューに取り入れている。また、毎月のフロアミーティングの際にCPR訓練を実施している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	基本的には、年に2回避難訓練等を実施。 法人全体の取組みとし、施設防火チェックを、年4回行っている。	4月にはチラシを近隣に配布し協力を求めた結果、近隣の地域包括支援センターから避難訓練への参加があった。法人に「防災対策委員会」があり、11月には法人のシナリオに沿って夜間想定での防災訓練を行った。事業所には3日分の食料や水のほか、防災ヘルメットやシューズ、拡声器照明用の電池などは法人から配布されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	コンプライアンスルールを掲げ、左記内容をスタッフに周知し、これを実践している。	法人で「コンプライアンスルール」を作り年に1回研修を行っている。法人の「品質方針」に「一人ひとりの思いに沿ったおもてなし」を謳っており、職員は尊厳を大切に、傾聴を心掛け、「待つ」ケアを行っている。個人情報に関する書類は鍵のかかるキャビネットの中に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアの実践において「話を傾聴すること」「待つこと」を旨とし、左記内容が実践できるよう心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	同上。日々の日課を決まったものにするのではなく、その日のその方状態、ペースに合わせて過ごしてもらえよう臨機応変に対応している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの服を用意してもらい、その方の普段着をそれぞれに演出してもらっている。毎月、訪問理容にて散髪している。（希望者のみ）		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や後片付けを手伝ってもらい、スタッフとお客様が共同作業で食事作りを行っている。	業者からの宅配で職員が調理を行っている。利用者は台拭きや食器洗いを手伝っている。昼食は利用者の起床時間に配慮し、11時30分からはじめている。職員は介助や見守りをしながら同じものを食べている。時には出前を取ったり、おやつを手作りしながら楽しんでいる。畑作業の折は、パラソルを出してお茶を飲んだりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1食ごとに個別に摂取量を記録し、これを観察し、健康管理に配慮している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、その方の状態に応じた口腔ケアを実施。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄介助が必要になったり、紙パンツ等が必要になった方も、習慣的にトイレに座ってもらい、自力排泄ができるようケアしている。	3か所にバリアフリーのトイレがあり、なるべくトイレで排泄できるよう支援している。チェック表に従って誘導をして、失敗を減らすよう努力している。夜間も極力トイレに誘導している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防にフルーツ入りのヨーグルトやオリゴ糖入りの飲み物を出している。そのた個別に排便状況を観察し、やむを得ない場合は主治医に相談し、緩下剤を処方してもらっている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	夕食前に入浴時間を設定し、個別に誘導。入浴を強要せず、無理強いないで、入浴剤を使用するなど、気持ちよく安心して入浴できるよう個別に創意工夫を行っている。	夕方4時からの入浴を少し早め、ゆっくりと入浴してもらえるようにした。利用者の入りたい気持ちを優先し、無理強いしない誘導を行っている。洗剤なども配慮して手肌にやさしいものを取り入れている。利用者は入浴剤やゆず湯、しょうぶ湯などの行事湯を楽しみにしている。脱衣所には利用者ごとの入浴用品や着替えが入れられるよう、法人の工房部門に特注した木製の仕切り棚がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疲れたら居室にて横になってもらう、眠れない時は、リビングで好きなだけ過ごしてもらう等、臨機応変に対応しているが、日常生活の休息リズムにも個別に配慮している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬処方の説明書を個別ファイルに添付し、服薬情報をスタッフで共有している。また、変薬の際は、必ず申し送りノートに記載し、直ちに情報共有を行っている。症状変化についても個別サービス記録に記載。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式を一部活用し、左記内容を取り込んだケアプラン作成に努めている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日、個別に外出支援を実施（散歩、買い物等）。また、外食イベント等も、グループ単位で外出支援を行っている。	以前より利用者の介護度も進み遠出はできなくなってきたが、買い物や散歩など個別に行きたいところへの外出を支援している。あじさい見物や近隣の畑に出向くことを楽しみにしている利用者が多い。平塚の動物園に行き、動物とのふれあいを楽しんだ。	今後も利用者の重度化に対応し、全員での行事だけでなく、本人本位をすすめるためにも個別支援への移行も視野に入れられることを期待します。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族に相談しながら、一部のお客様において（能力を勘案し）実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	左記については、自由に積極的に行ってもらっている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が作成した季節の飾り物などを工夫し、心地よく楽しく過ごせるよう配慮を行っている。スタッフが作成した利用者の似顔絵も飾り大変喜ばれている。	廊下は車椅子同士の利用者がすれ違えらるほどの幅がある。台所はリビングの一角にあり職員は台所仕事をしながら利用者と話ができる。壁には利用者の作品や季節物の飾りつけがされている。訪問時、利用者は「昭和なつかしの映像」を見ながらソファでくつろいでいた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルの配置を工夫し、左記について可能な限り配慮を行っている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持ち込んでもらい、居室については制約をなくし自由に使ってもらっている。	各居室はゆったりとした間取りである。利用者は筆筒やソファ、テレビ、仏壇、家族の写真などを持ち込んでいる。事業所は利用者の状態に合わせて、居心地の良い空間になるよう工夫している。畳マットを持ち込んでいる利用者もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	目立つように「洗濯場」等の掲示をしたりして、自らの役割を演習しやすいよう配慮を行っている。		

目標達成計画

作成日：平成 26 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	ご家族の高齢化などで家族会等行事参加などが少なくなっている。	・行事等への家族参加者の増加。 ・面会等での家族来所回数の増加。	現在施設で行っている、入居者の誕生日会に、ご家族を招待し、施設の取組等に関心を持っていただき来所に繋げる。	12ヶ月
2	18	重度化が進み、入居者全員での外出が出来なくなっており、個別の外出支援を行っているが、未実施の方もいる。	外出の支援のみならず、重度化している方も、施設内での余暇などご本人に合わせた個別支援ができています。	現在は、家族会等の行事のみバイキング形式の食事を提供していたが、毎回好評のため入居者の誕生日ごとにバイキング形式の食事を提供し「食の楽しみ」について取組んで行く。 また、居室対応で寝たきりの入居者に対しても、訪室回数を増やし、その方に合った個別の支援について取組んで行く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。